

ごあいさつ

地域の医療を！地域とともに！

～北の大地から赤十字のメッセージを～

第44回日本赤十字社医学会総会は北海道ブロックの担当で、釧路赤十字病院がお世話させていただくことになりました。釧路での開催は初めてのことですが、大変光栄なことと、その機会を下さったことに感謝いたしております。

総会のメインテーマは「地域の医療を！地域とともに！～北の大地から赤十字のメッセージを～」です。昨今、医療をとりまく環境は厳しく、医療崩壊とまで取り沙汰されています。『人道』という赤十字の理念は医の原点でもあります。この理念に基づき医療を展開させていくことが地域の医療を支えていくものだと確信して、今回のメインテーマにこの思いを込めました。

特別講演は旭山動物園（旭川市）の坂東 元 副園長に「命をとおして伝えること」と題してご講演をいただきます。教育講演はKKR斗南病院加藤紘之病院長（北海道大学名誉教授）に「医療の安全をどう守るか、事故が起こったらどうするか～小さな経験から学んだもの～」と題してご講演をいただきます。

シンポジウムは「地域医療を守るための取り組み」をメインテーマとし、「赤十字病院の役割、地方におけるDPCの取り組み、医師卒後臨床研修制度の影響を受けて、地域における救急医療」のサブテーマに対して、8演題の基調講演によりディスカッションを行います。

幸いにも要望演題に184題、一般演題に456題、合わせて640題という今までにない多くの応募をいただきました。演題をお寄せ下さった皆さんに感謝いたします。要望演題は口演、一般演題はポスターセッションといたしました。活発な討論が行われますことを期待しています。

日本赤十字社医学会総会の目的は、医療の進歩への貢献とともに、同じ赤十字社の医療人として、職域や地域を越えて交流を深め、未来への活力源を得ることにあると思います。

10月初めの釧路は、ちょうど紅葉の季節と実りの秋です。皆様のご参加をお待ちしています。

（平成20年10月）



第44回日本赤十字社医学会総会
会長 二瓶 和喜
(釧路赤十字病院 院長)